

PC建協新年賀詞交歓会を開催

PC建協は、令和8年1月15日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門にて「新年賀詞交歓会」を開催しました。

来賓として建設産業職域代表の見坂茂範参議院議員、国土交通省より廣瀬昌由技監をお迎えし、関係省庁、機関、関連団体から約550人が参加しました。

堤忠彦会長は、冒頭挨拶で近年の激甚化・頻発化する災害への対応協



▲新年賀詞交歓会で挨拶する堤会長

力を約束し、建設業界の生産性向上・担い手確保に向け、ICT活用や働き方改革、技能者処遇改善を進める方針を示しました。また、国土強靱化やネットワーク整備等の国家的課題に対してPC技術への期待は高いと確信しており、PC建協としてさらに技術研鑽に励み、業界の魅力向上に取り組み決意を述べました。続いて来賓の皆さまからご挨拶をいただきました。

令和8年度の本部主催の意見交換会テーマ等決まる

PC建協では、令和8年度の各発注機関との意見交換会について、基本となる提案テーマを次の通り決定しました。

意見交換会は6月の国土交通省道路局を皮切りに、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局と7月から11月にかけて開催予定です。

1. 年度工事量の安定的な確保

①年度工事量の安定的・持続的な確保

②PC新設の新規プロジェクトの創生

2. 働き方改革の推進
①柔軟な完全週休二日の推進
②総労働時間の削減
③暑中における作業条件の改善
④技能労働者の処遇改善
3. 生産性向上の推進

①プレキャスト化の推進
②ICT活用の推進
(BIM/CIM活用)
③ICT活用の促進
(新技術促進)

4. PC橋の長期保全の推進
①詳細調査・施工計画付工事の推進

5. 優れた機能性と構造デザイン性を有するプレキャストPC建築の推進
①官庁営繕・土木営繕にプレキャストPC造を推進

②プレキャストPC造の採用を加速させる選定フローの採用
③プレストレストコンクリート建築技術講習会のご紹介

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開し

ています。

(北海道支部)

令和8年1月30日に北見工業大学工学部地域未来デザイン工学科の2年生86人を対象に「プレストレストコンクリートの概要」と題した講義を行いました。

講義ではPCの概要、北海道のコンクリート橋、PC技術を用いた構造物を説明し、社会人としての体験談を紹介しました。



▲北見工業大学での講義の様子

(関東支部)

令和8年1月28日に栃木県立那須清峰高校建設工学科の2年生32人を対象に「プレストレストコンクリートの概要」と題した講義を行いました。



▲長岡工業高等専門学校での講義の様子

講義ではPC建協の紹介、PCの概要について説明し、建設業界での仕事内容の実例などを紹介しました。

(北陸支部)

令和7年12月24日に長岡工業高等専門学校環境都市工学科専攻科1年の11人を対象に「プレストレストコンクリート橋について」と題した講義を行いました。

講義ではPC建協と建設業の仕組みについて説明しました。またPC橋の概要と施工については模型を使いながらPC橋の仕組みとともに解説し、最後に各種資材サンプルを紹介しました。

(中国支部)

令和7年12月12日に呉工業高等専門学校環境都市工学科の2年生30人を対象に「プレストレストコンクリートについて」の講義を行いました。

当日は、PC鋼材やPC板、緊張ジャッキなどの実物を使った体験学習を実施し、橋梁模型を用いてPC構造の仕組みをわかりやすく説明しました。また、身近なPC構造物の紹介に加え、学生の皆さんが将来を考慮するきっかけとなるよう、若手技術者による業務紹介も行いました。

(九州支部)

令和8年1月20日に琉球大学工学部・社会基盤デザインコースの3年生41人を対象に「コンクリート構造物の補修・補強・メンテナンス技術」と題した講義を行いました。

講義では「PCって何？」というテーマから話を始め、コンクリート構造物の変状とその要因、点検・調査の方法、補修・補強技術について紹介しました。

そのほか令和7年12月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名
12月1日、11日	東北	東北工業大学工学部
12月1日	関西	舞鶴工業高等専門学校
12月5日	中国	広島工業大学工学部
12月5日	九州	福岡大学工学部
12月8日、9日	北海道	函館工業高等専門学校
12月9日	九州	熊本高等専門学校
12月11日	関東	国土館大学理工学部
12月11日	関東	千葉工業大学創造工学部
12月11日	中国	松江工業高等専門学校
12月12日	関東	東京都市大学建築都市デザイン学部

開催日	支部名	学校名
12月17日	北海道	北海学園大学工学部
12月19日	東北	八戸工業大学工学部
12月19日	北陸	石川工業高等専門学校
12月19日	関西	京都大学工学部
12月22日	東北	岩手大学理工学部
12月22日	関西	大阪工業大学工学部
12月23日	関東	中央大学理工学部
1月19日	関東	日本大学理工学部
1月19日、2月2日	北海道	苫小牧工業高等専門学校
1月21日	関東	神奈川県立横須賀工業高校

現場見学会を開催

現場見学会が各地で開催されました。

(関西支部)

令和8年2月18日に滋賀県東近江市の三井住友建設(株)能登川工場で国土交通省近畿地方整備局の技術系職員12人を対象に現場見学会を実施しました。この見学会は「近畿地方整備局技術力向上ブロック会議における工場視察」と題して実施されました。

当日、工場ではプレテンション桁コンポ桁、PC床版の製作手順を見学してもらいました。続いて工場製品の品質管理の様子を見てもらった後にその実施方法を解説し、実際に操作を体験してもらいました。

(四国支部)

令和7年12月3日に徳島県小松島市の四国横断自動車道江田高架橋上部PA34-1A-A2工事の工事現場で徳島大学大学院社会産業理工学研究部の学生と教員の計9人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋は橋長152・8mのPC8径間連結コンポ橋(トラッククレール架設/三井住友建設(株)です。

当日は工事現場を見学後、関西ピー・エス・コンクリート(株)本社工



▲関西ビー・エス・コンクリート㈱の本社工場での見学会の様子

場へ移動し、PC板とRC板の比較やPC桁載荷試験を見てもらいました。

- その他
- 3月5日 日本サミコン(株)見附工場 新潟県職員20人
 - 3月24日 東海環状自動車道荒田川橋・庭田高架橋各PC上部工事現場 (公社)日本コンクリート工学会中部支部学生会員(名古屋工業大学・愛知工業大学)など14人
 - 3月26日 新野積橋 (株)ネクスコ・エンジニアリング新潟社員19人

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(東北支部)

令和8年1月6日に福島市の杉妻会館で開催された「令和7年度橋梁技術講習会(主催:福島県土木部)」において自治体職員など21人に対して講師を務めました。

今回の内容は、PC橋の概要及び架設計画について、PC橋設計成果品に対するチェックポイント、最近の話題「生産性向上」でした。

(九州支部)

令和8年1月13日に那覇市の那覇第2地方合同庁舎2号館で開催された「橋梁マネジメント現場支援講習会(主催:沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課)」において自治体職員など17人に対して講師を務めました。今回はPC橋の架設概要を説明しました。

その他

- 12月2日 令和7年度鳥取県土木技術講習会(主催:(公財)鳥取県建設技術センター) 44人
- 12月22日~1月9日オンデマンド形式 令和7年度PC技術講習会

(主催:PC建協中国支部、(二社)建設コンサルタンツ協会中国支部) 35人

- 12月23日 令和7年度PC橋梁技術講習会(主催:PC建協東北支部、(二財)秋田県建設・工業技術センター) 23人

● 1月19日 奈良県技術講習会(主催:奈良県土木マネジメント部) 31人

● 1月29日 茨城県橋梁技術研修会(主催:茨城県土木部) 33人

● 2月27日 |実務に役立つ|プレストレストコンクリート建築設計・施工勉強会(主催:PC建協九州支部) 14人

● 3月4日 PC橋の施工技術と維持保全に対する実務講習会(主催:PC建協北陸支部、(公財)福井県建設技術公社) 31人

(東北支部) 第24回(令和7年度)高校生「橋梁模型」作品発表会

令和8年2月10日に仙台市青葉区のエル・パーク仙台で「第24回(令和7年度)高校生「橋梁模型」作品発表会(主催:高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会(東北地方整備局東北技術事務所、PC建協などが構成)」が開催されました。

今回は東北5県の17校から応募があり、宮城県仙台市立仙台工業高等学校の「錦帯橋(山口県岩国市)」が最優秀賞に選ばれました。

PC建協書籍2冊を刊行

PC建協は書籍2冊を刊行しました。

1冊目は『雪寒仮囲い・防寒養生工積算要領令和7年版』です。雪寒仮囲いから資機材配置、養生中の点検まで実施工に沿った積算の考え方で整理しています。

2冊目の『PC構造物の維持保全—PC橋の長期保全に向けて—2025年版』は、PC橋を長く安全に



▲ 左: PC構造物の維持保全 右: 雪寒仮囲い・防寒養生工 積算要領

使い続けるための予防保全・長期保全の実務ガイドです。点検・診断から補修・補強まで、実例を交えてまとめられています。

詳細はPC建協事務局まで。

令和8年度各種講習会日程

(PC建協主催)

第33回プレストレストコンクリート建築技術講習会

●演題

- ①長岡造形大学第4アトリエ棟 (株)日本設計
- ②大泉町庁舎建設工事 (株)桂設計
- ③大阪大学・日本財団感染症センター 大成建設(株)
- ④高槻城公園芸術文化劇場 (株)日建設計

- 日時 7月10日(金)13時～17時
- 受講方法 建築会館(東京都港区)での対面方式(東京会場)とオンライン形式「Zoomウェビナー」の併用。オンラインシステム「Zoomウェビナー」はURLより事前登録し、Zoomウェビナー参加用URL(本人専用)を受け取りアクセスする方式。さらに7月13日より14日間オンデマンド形式にて録画配信を行う(ただし、受講認定及び受講証明書の発行対象は当日

分のみ)

●質疑 当日会場かチャットにて回答

●受講資料 7月初旬からPC建協ホームページよりダウンロード

●定員 東京会場200人、当日オンライン受講1000人(東京会場、オンライン、オンデマンド共に事前登録制)

●参加費 無料

●建築CPD認定講習会 4単位、建築構造士資格更新評価点 5点、適用予定

●問い合わせ PC建協事務局

(PCI工学会主催)

第53回プレストレストコンクリート技術講習会

●特別講演

温湿度環境がPC-RC構造物の長期挙動に及ぼす影響
東京科学大学教授 千々和伸浩

●テキスト題目

(A)「振動締めを必要とする高流動コンクリートを用いたPC桁製造と生産性向上」
(国研)土木研究所 古賀裕久

(B)「最新の研究を支えるPC建築」
近畿大学教授PC工学会理事 岸本一蔵、日本大学教授PC工

学会理事 福井剛、大成建設(株) 阪井由尚、(株)久米設計 伊藤淳

(C)「高速道路の取組み」

(1)阪神高速14号松原線喜連瓜破付近での橋梁大規模更新工事 (既設PC箱桁橋の撤去工事)
阪神高速道路(株) 大池岳人、中田諒

(2)PC構造物における生産性向上と働き方改革の推進

東日本高速道路(株) 塩畑英俊、中日本高速道路(株) 小野聖久、西日本高速道路(株) 今村壮宏、(株)高速道路総合技術研究所 宮永憲一、(株)高速道路総合技術研究所 守口良平

(D)「鉄道の取組み―鉄道橋PC橋メンテナンスの最前線―」

(公財) 鉄道総合技術研究所 渡辺健

(E)「PC技術に関する海外の話題」

(1)fibシンポジウム2025 アンティープ参加および橋梁視察
神鋼鋼線工業(株) 細居清剛

(2)ドイツにおける橋梁の現状とドレスデンのカローラ橋の崩落

中日本高速道路(株) 牧田通、オリエンタル白石(株) 二井谷 教治

(F)「PC技術を用いた構造物の低炭素化」

「PC技術を用いた構造物の低炭

素社会への貢献に関する小委員会報告」
三井住友建設(株) 永元直樹、岐阜大学准教授 柴山淳、三井住友建設(株) 藤岡泰輔、(株)富士ピー・エス 中村文香、(株)大林組 村上隆弘

●日時 6月1日(月)～22日(月)

●オンデマンド動画を配信

●土木学会継教育(CPD)プログラム認定単位数 4・4単位
●受講料 4000円

(富士教育訓練センター主催・PC工業協会の協力)
【名称・開催日・会場】

第16回PC工事技能実習
10月13日(火)～15日(木)
富士教育訓練センター

第10回コンクリート橋架設等作業主任者技能講習
10月15日(木)～16日(金)
富士教育訓練センター

10月15日(木)～16日(金)
富士教育訓練センター

10月15日(木)～16日(金)
富士教育訓練センター

10月15日(木)～16日(金)
富士教育訓練センター

10月15日(木)～16日(金)
富士教育訓練センター

(中部支部) 建設技術フェア2025 in 中部に出展

令和7年12月4日と5日の両日、名古屋市港区の名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)で「建設技術フェア2025 in 中部(主催:建設技術フェア in 中部運営委員会(国土交通省中部地方整備局など)、後援:PC建協中部支部など)」が開かれました。

PC建協中部支部は「学生交流ひろば」にブースを設置し、学校関係者や学生を対象にPC業界に関する質問に回答しました。また来場者向け企画として、PC桁の部材キーホルダーが当たるカプセルトイを設置し、好評を得ました。

全国から開通情報

(北海道支部) 日高自動車道(日高厚賀IC)と新冠IC)、開通

令和8年2月28日に日高自動車道の日高厚賀ICと新冠IC間(延長9・1km)が開通しました。この開通により地域の安全・安心な交通確保に加え、災害時の代替路の確保や物流の効率化、観光振興などの効果が

期待されます。

(中部支部) 愛知県 三遠南信自動車道佐久間道路・三遠道路、全線開通

令和8年3月14日に三遠南信自動車道佐久間道路・三遠道路の東栄ICと鳳来峡IC間(延長7・1km)が開通しました。この開通により、佐久間道路・三遠道路(総延長27・9km)が全線開通となり、浜松市の佐久間支所と市役所間の移動時間が約30分短縮されるなど、物流の効率化などの効果が期待されます。

三遠川合トンネルで催された開通式には自治体関係者など300人が出席し、テープカット、くす玉開披、通り初めなどで今回の開通を祝いました。

(関西支部) 兵庫県 都市計画道路園田西武庫線(藻川工区)、開通

令和8年3月20日に都市計画道路園田西武庫線(藻川工区)の尼崎市東園田4丁目と食満6丁目間(延長約0・6km)が開通しました。この開通により、尼崎市北部を東西に結ぶ道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や安全性の向上、都市防災機能の向上などの効果が期待されます。

(中国支部)

島根県 山陰道三隈・益田道路(石見三隅IC)と遠田IC)、開通

令和8年3月28日に山陰道三隈・益田道路の石見三隅ICと遠田IC間(延長15・2km)が開通しました。今回の開通により、緊急輸送道路の確保や救急医療機関へのアクセス向上などの効果が期待されます。

島根県芸術文化センターグラントワで催された開通式典には自治体関係者ら400人が出席し、万歳三唱などが行われました。続いて遠田ICで祝賀行事が行われ、テープカット、くす玉開披、通り初めなどでこの開通を祝いました。

(四国支部)

徳島南部自動車道(小松島南IC)と阿南IC)、開通

令和8年3月8日に徳島南部自動車道の小松島南ICと阿南IC間(延長3・2km)が開通しました。これにより国道55号の慢性的な渋滞区間を回避できるようになり、小松島市中心部と阿南市中心部間の移動時間が最大で約10分短縮されます。救急搬送時間の短縮などが大きく前進し、地域の安全基盤強化が期待されます。

(九州支部)

鹿児島県 大隅縦貫道路吾平道路、開通

令和8年3月20日に鹿児島県鹿屋市の大隅縦貫道路吾平道路の吾平町下名と上名間(延長4・2km)が開通しました。これによりカーブが少なく走りやすい道路となり、信号の少ないルートが確保されたことで、現道よりも移動時間が短縮されます。交通の分散による安全性向上や、緊急輸送道路としての機能強化が期待されます。

その他

●北海道 音中道路音威子府ICと中川IC

●島根県 益田市都市計画道路元町人麿線第一期区間・須子中線

●岡山県 国道180号総社・一ノ宮バイパス

●岡山県 国道2号笠岡バイパス笠岡東ICとカブト南IC

●広島県 臨港道路廿日市草津線4車線化事業II期

●長崎県 西九州道松浦佐々道路松浦ICと平戸IC

●鹿児島県 さつま町道川口平川線海老川大橋

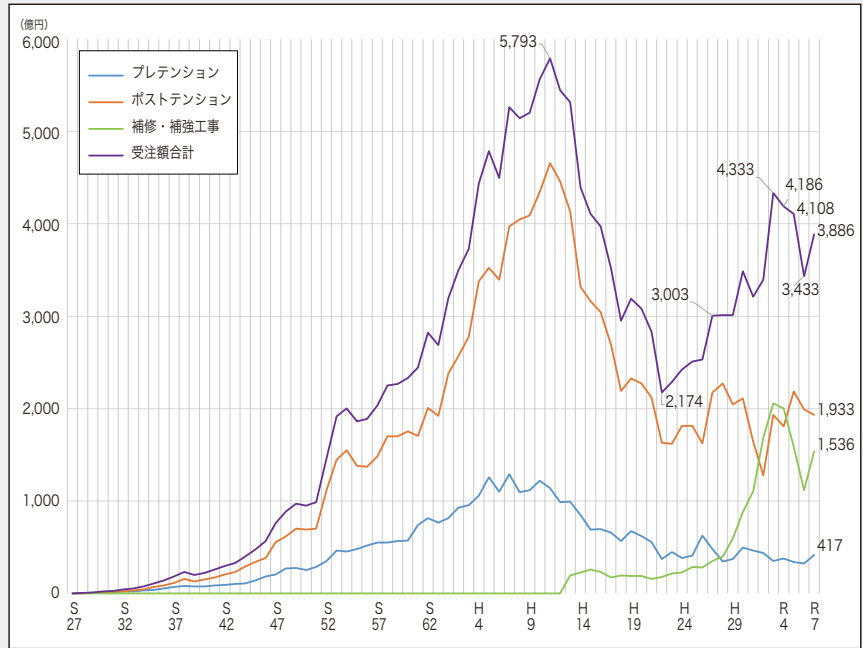
●鹿児島県 薩摩川内市飯母橋

PC統計(受注実績)

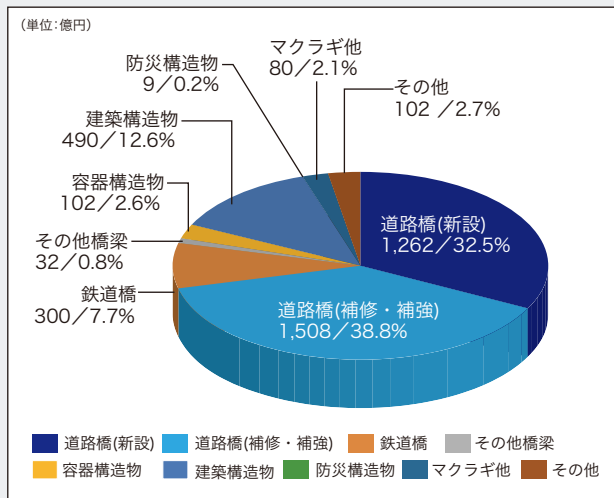
PC建協会員の受注高は平成11年度の5,793億円をピークとしてその後減少したが、平成23年度から再び増加し令和3年度に4,000億円を超えました。その後は減少しつつも3,000億円台を維持しています。

令和7年度の受注高は、新設(橋梁等)部門が255億円減の1,863億円(前年度比88%)と減少しましたが、新設(建築)部門が290億円増の487億円(前年度比247%)、補修・補強部門が418億円増の1,536億円(前年度比137%)といずれも増加した結果、全体として前年度より453億円増の3,886億円(前年度比113%)となりました。

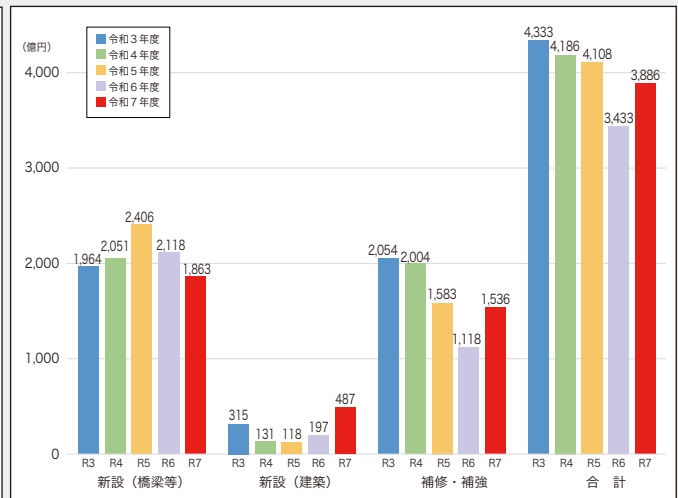
用途別では、道路橋が2,770億円(前年度2,659億円)、鉄道橋が300億円(前年度203億円)となりました。道路橋の内訳は新設工事が1,262億円(前年度1,670億円)、補修・補強工事は1,508億円(前年度989億円)となりました。



年度別受注推移 (全期間)



令和7年度用途別受注実績



工事種別の受注推移 (過去5年)

編集委員会

森田 康夫 (編集委員長)、石井 一生 (副委員長)、
吉山 誠之 (副委員長)、阿部 悟、黒木 信秀、鈴木 裕二、
松井 敏二、堀 重伸、大塚 俊介、牧 哲史、太野 垣 泰博

編集部会

荒畑 智志 (部会長)、武藤 浩美 (副部会長)、木村 良輔 (副部会長)、
瀬戸 裕一郎 (副部会長)、園田 健児、河野 雅弘、喜多 俊介、三輪 祥大、浅野 真人、
畑中 俊樹、福井 大樹、中田 清博、直井 秀市、小林 晃一、渡邊 絵美、吉野 正道

編集後記

今回のルポでは、源泉総数日本一を誇る大分県の別府・由布院を訪れました。近接する2つの温泉地ですが、自然と調和した落ち着いた由布院と、地獄めぐりや地獄蒸しなど体験型の魅力にあふれた別府では、それぞれ異なるコンセプトで温泉地を楽しむことができました。また、今回表紙を飾った別府明礬橋を見学し、橋梁が果たす役割は、交通・物流・防災・都市景観など多方面にわたりインフラを支えていることを改めて実感しました。

特別企画では「未来を担う若手技術者との座談会」として、PC建協各会員会社で働かれている皆さまのリアルな声をお届けしています。会社の垣根を越えた意見交換は、PC業界全体の未来を考えるうえで貴重な機会となりました。

「明日を築くプロジェクトの風景」では、全線開通が近づく東海環状自動車道を、「こんなところにPCが!」では、石垣港国際ターミナルをご紹介いただきました。

最後になりますが、今年10月には、今回取材をさせていただいたピーコンプラザにてPCシンポジウムが開催されます。皆さまもぜひPCに触れていただくとともに、温泉・食事・観光と魅力あふれる別府・由布院を訪れてみてはいかがでしょうか。

(畑中)